

(5) 検討会における取り組みの発表資料

＜検討会における中部圏の課題に対応した取り組みの発表資料＞

〔第2回検討会〕

- 中部圏の地域力の持続的向上に向けて -1-
中部経済連合会

- 名古屋港におけるカーボンニュートラルポート（CNP）の取組・・・ -3-
中部地方整備局

〔第3回検討会〕

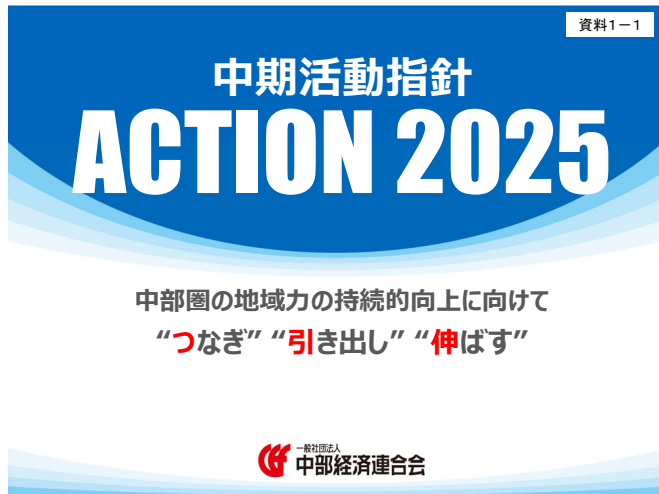
- 自動車産業の大改革を見据えたサプライヤーに求められる
今後の取組について
経済産業省 中部経済産業局

※本参考資料には掲載していません。

- スタートアップ・エコシステムの形成に向けて -5-
名古屋市

〔第6回検討会〕

- 伊那市版 ローカル GovTech の取組について -9-
伊那市



第1章 中部圏が目指す将来像

第2章 中期活動指針「ACTION2025」

1

第1章 中部圏が目指す将来像

〔求められる方向性〕

人口減少への対応、東京一極集中の是正、グローバル化の取り組み、国内外の地域間競争への対応

〔中部圏のアドバンテージ〕

リニア開業、東海環状西回り、セントレア二本目滑走路など、交通ネットワークのさらなる充実

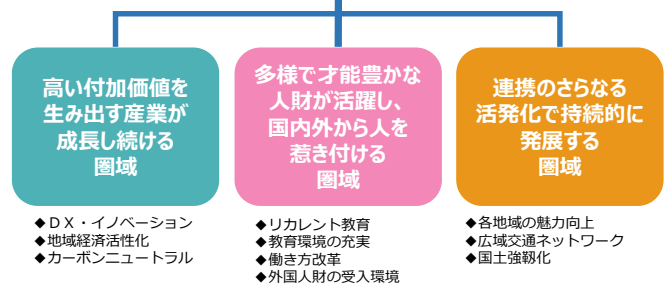


中部圏が目指す将来像「高い地域力を誇る圏域」
(地域力：活気に溢れ、人を惹き付ける力)

2

第1章 中部圏が目指す将来像

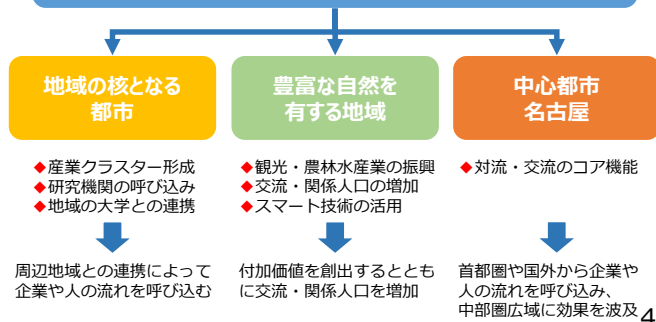
高い地域力を誇る中部圏



3

第1章 中部圏が目指す将来像

高い地域力を発揮する都市や地域の姿



4

第2章 中期活動指針「ACTION2025」

・2021年からの5年間で、中部圏が国内だけでなくグローバルな競争に打ち勝つための「地域力」を高めていく第一段階の期間と位置付け活動する。

・中経連の役割は、産学官や地域間の連携などで、圏内各地域のステークホルダーや地域資源を「つなぎ」、そのポテンシャルを「引き出し・伸ばし」、地域力を高めることである。

・この役割を果たすことで、中部圏の地域力が高まるよう、「付加価値の創造」、「人材の創造」、「魅力溢れる圏域の創造」の3つの「創造」を柱とし、8つの指針に基づき、活動を展開する。

5

3つの創造と8つの指針

付加価値の創造

経済の早期回復と高い付加価値を生み出す産業の創出・成長

【指針①】 コロナ禍で落ち込んだ経済の早期回復に取り組む

【指針②】 高い付加価値を生み出す産業の創出・成長、D Xの加速に取り組む

【指針③】 地域産業の生産性向上・イノベーションの活発化を図り、地域経済の活性化に取り組む

【指針④】 カーボンニュートラル社会の実現に向けた活動に取り組む

人財の創造

多様な能力を発揮できる人財の育成と活躍しやすい環境の整備

【指針⑤】 多様な能力を発揮できる人財の育成に取り組む

【指針⑥】 働きやすく住みやすい環境の整備に取り組む

魅力溢れる圏域の創造

広域産学官連携の活発化、魅力と活力のある地域づくり

【指針⑦】 広域的な視点による連携の推進、魅力と活力のある地域づくりに取り組む

【指針⑧】 社会基盤の整備・維持による利便性向上と国土強靱化に取り組む

6

中期活動指針「ACTION2025」の全体像



7

付加価値の創造

【指針①】

コロナ禍で落ち込んだ経済の早期回復に取り組む

- ・ 会員・圏内各地域の声を踏まえた、国や自治体への提言・要請
- ・ 航空機産業のダメージの回復と、将来の世界的な航空機産業クラスター化
- ・ 国内観光・インバウンド双方の回復局面での需要取り込み

【指針②】

高い付加価値を生み出す産業の創出・成長、D Xの加速に取り組む

- ・ ものづくりの強みを活かしたデジタルをはじめとするソフトとハードが融合した裾野の広い産業の創出、「ことづくり」の活発化
- ・ D Xの加速
- ・ ナゴヤ イノベーションズ ガレージの活動充実によるイノベーションの活発化、スタートアップ企業の創出、「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」の活動充実

8

付加価値の創造

【指針③】

地域産業の生産性向上・イノベーションの活発化を図り、地域経済の活性化に取り組む

- ・ 圏内各地域および産学官の連携の活発化による地域産業の販路拡大や生産性向上
- ・ 各地域の特徴や強みを活かした魅力ある産業と雇用の場の創出などによる地域産業・地域経済の活性化

【指針④】

カーボンニュートラル社会の実現に向けた活動に取り組む

- ・ 「S + 3 E」を前提にした再生可能エネルギーの普及拡大、安全性の確保を大前提にした原子力発電所の再稼働、ローカルエネルギーシステムの構築推進
- ・ 利用サイドのグリーン化（電動化自動車の普及拡大、水素利用の促進など）をはじめ需給両面での研究開発、新システム導入などの促進
- ・ 循環型経済社会（サーキュラーエコノミー）の形成推進

9

人財の創造

【指針⑤】

多様な能力を発揮できる人財の育成に取り組む

- ・ 会員大学に会員企業から講師を派遣する「キャリア教育共創プログラム」の一層の充実
- ・ デジタルスキルの向上をはじめ、リカレント教育の推進

【指針⑥】

働きやすく住みやすい環境の整備に取り組む

- ・ 働き方改革の推進（新しい雇用システムへの移行、テレワーク、二地域居住 等）
- ・ 女性、外国人材など、多様な人材が活躍できる、働きやすく住みやすい環境の整備促進

10

魅力溢れる圏域の創造

【指針⑦】

広域的な視点による連携の推進、魅力と活力のある地域づくりに取り組む

- ・ 観光、デジタルスキルの向上など、広域で共通する課題の解決
- ・ 「中部圏戦略会議」（仮称）の設立などによる広域での産学官連携活動の強化
- ・ 地域の特徴を活かした特色ある産業づくり、魅力と活力のある地域づくりに向けた圏内各地域間の連携推進
- ・ 東京一極集中の是正（魅力と活力のある地域づくり、中央省庁の地域への機能移管に向けた広域行政機能の充実等）

【指針⑧】

社会基盤の整備・維持による利便性向上と国土強靱化に取り組む

- ・ リニア中央新幹線の開業および開業効果の最大限発揮に向けた準備、中部国際空港の二本目滑走路の早期整備に向けた活動、広域交通ネットワークの整備・活用、港湾機能の強化、インフラの計画的な維持・更新の実現
- ・ 南海トラフ地震、風水害などへのレジリエンス強化
- ・ 感染症対策も取り入れたBCP・BCMの普及・内容充実、国土強靱化税制の拡充

11

港湾	構成員等
小名浜港	【民間事業者 25者】IHIいわき小名浜コンテナサービス警備連、岩谷産業、小名浜海陸運送、小名浜製鉄、小名浜石油、小名浜東港バタリミナル、小名浜海頭、いわき環境化学工業、サツト小名浜、アース・三洋海運、JERA、常磐共同火力、常磐連送、東電エナジー、東邦東港、常磐港24時間、根本通商、福島臨海施設 三菱ミナル、三菱重工業、三菱商事 【行政機関】東北地方整備局、福島県、いわき市、福島復興局 等 【関係団体】NEDOいわき商工会議所、いわきハナタレーリア推進機構、産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所、福島県産業振興センター、エネルギー・エッジセンター、しんみ、福島県エネルギー工業組合
横浜港・川崎港	【民間事業者 16者】旭化成 岩谷産業、ENEOS、JFEスチール、JERA昭和電工、住友商事、千代田化工建設、東海開発、東重石油、東京ガス、日本郵船、三井E&Sマリン、ロッキード・エス・シー、ネットワーク横浜川崎国際港湾港、横浜港埠頭 【行政機関】関東地方整備局、横浜市、川崎市 等 【関係団体】神奈川港連合会、神奈川倉庫協会 等 【有識者】横浜国立大学大学院 教授 川島 重徳
新潟港	【民間事業者 17者】IHI青森環境事業、ENEOS、JFEホールディングス・ジャパン、サトウ食品、石油資源開発(JAPEX)、全農、アース、東北電力、新潟国際貿易ターミナル、新潟石油共同備置、日本・アース・ド、日本東海船、日本海丸、エス・シー、日本通運、北越運輸、北越北越、北越が入三三菱ガス工業、リノコ・ボーション 【行政機関】北陸地方整備局、新潟県、新潟市、室積町、新潟カーボニウム、新潟県、水素利活用促進協議会事務局(関東経済産業局) 等 【関係団体】新潟県トラック協会、新潟県農工会議所連合会
名古屋港	【民間事業者 17者】出光興産、岩谷産業、JERA、住友商事、中部電力、長州産業、東邦カストロ自動車、豊田自動機、豊田通商、日本・アース・ド、日本製鉄パナソニック三井住友銀行、三菱ミナル、三菱UFJ銀行、名古屋四日市国際港湾 【行政機関】中部地方整備局、愛知県、名古屋、四日市、名古屋港管理組合、名古屋都市管理組合 等 【関係団体】中部経済連合会、東海倉庫協会、名古屋港連合会、名古屋商工会議所、愛知県トラック協会
神戸港	【民間事業者 14者】岩谷産業、大林組、川崎汽船、川崎重工業、関西電力、神戸製鋼所、シェル・ジャパン、丸紅、三菱アバ・ENEOS、パナソニック、上組、三菱ロジスネクスト、商船港運 三井E&Sマリン、日本郵船、商船三井、井井海運、阪神国際港湾 【行政機関】近畿地方整備局、神戸市 等 【関係団体】兵庫倉庫協会、兵庫県冷蔵倉庫協会、兵庫港連合会、神戸海運貨物取扱業組合、神戸旅客船協会、兵庫県トラック協会【学識経験者】山口大学大学院 教授 小池 淳司、ロッキード・エス・シー 上村 多恵子
徳山・下松港	【民間事業者 4者】出光興産、東ソー、ヤマテ、岩谷産業 【行政機関】中国地方整備局、山口県、周南市 等 【関係団体】中国地方港連合会、中国経済連合会 【学識経験者】山口大学大学院 教授 棚原 弘之、山口大学大学院 教授 福和 也

<第3回中部圏長期ビジョン検討会>

NA

GOYA

EVOLVES

スタートアップ・エコシステム
の形成に向けて

名古屋市
経済局イノベーション推進部
スタートアップ支援室長

1

Startup Ecosystem

Global hub city

愛知・名古屋・浜松地区

スタートアップエコシステム グローバル拠点都市に選定（令和2年7月）

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

2

Startup Ecosystem

What's Global hub city ?

スタートアップエコシステム拠点都市一覧

【グローバル拠点都市】

- ・スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム（東京都、川崎市、横浜市、和光市、つくば市、茨城県等）
- ・Central Japan Startup Ecosystem Consortium（愛知県、名古屋市、浜松市等）
- ・大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム（大阪市、京都市、神戸市等）
- ・福岡スタートアップ・コンソーシアム（福岡市等）

【推進拠点都市】

- ・札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会（札幌市等）
- ・仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会（仙台市等）
- ・広島地域イノベーション戦略推進会議（広島県等）
- ・北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム（北九州市等）

3

Central Japan

Startup Ecosystem Consortium

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

浜松市スタートアップ戦略推進協議会

代表者：一般社団法人中部経済連合会
会長 水野明久

代表者：浜松市長 鈴木康友

構成組織：157企業・団体・大学等

構成組織：15企業・団体・大学等

自動車等、共通の産業基盤の集積
（地域・企業を越えた連携の実績・素地）

4

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

名古屋大学
次世代型人材育成・創出
大学発スタートアップ創出

University

中部経済連合会
共創・協業
イノベーション拠点強化

Industry

Startups

Local Government

愛知県
名古屋市
環境・基盤整備
特区・規制緩和

The division of Roles

5

Important

4 Concept

1 卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出

2 ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決

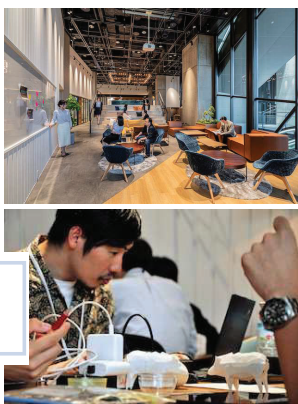
3 海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化

4 ベンチャーファイナンスの仕組みを構築

6

NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE

NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE (ナゴヤイノベーターズ ガレージ) は、中部圏のこれからを盛り上げるイノベーションの起源地として多くの機能を兼ね備え、同じ志を持った人々が集い、イノベーションを生み、世界を変える発想をもたらす場所です。



7

NAGONO CAMPUS

旧那古野小学校をリノベーション生まれ変わった「なごのキャンパス」。「ひらく、まげる、うまれる〜次の100年を育てる学校〜」をコンセプトに、起業家・ベンチャー企業の育成を目的とした名古屋の新しいインキュベーション施設。



8

20 promising startups have been selected as J-Startup CENTRAL

J-Startup CENTRAL



(R3.1)

9

Startup support program by Nagoya City

6 Category



10

スタートアップ共創促進事業 NAGOYA Movement

スタートアップ企業と事業会社との確度を高めたマッチングとその後の事業創出を伴走型によりサポートするプログラム



スタートアップとの共創に必要なノウハウ習得と事業会社のアセットを明確にするプログラム



事業会社とスタートアップの相互評価によるマッチングプログラム



共創プロジェクトを立ち上げ、専門家と行政のサポートを受けながら、事業と一緒に育てていくプログラム

11

STEP 2 (～2020)

・事業会社×スタートアップマッチングプログラム



スタートアップ企業
面談数
61
社

(総応募件数は71件)

STEP 3 (2021～)

・伴走型サポートプログラム



マッチングしたプロジェクトに対し、プロトタイピング、PoC等のハンズオン支援を実施予定

12

(令和3年8月6日提供開始)



シニアに充実を家族に安心を

オーダーメイドの介護保険外サービス

ミタスケア



13

先進技術社会実証支援事業

HATCH
TECHNOLOGY
NAGOYA



01

課題提示型

庁内から集めた課題の解決を図る
社会実証を実施（経費支援あり）

（令和3年度）
行政課題 4件 700千円/件
社会課題 2件 4,000千円/件
新型コロナ関連 2件 4,000千円/件

令和2年度 実証 6件

02

フィールド活用型

ネットワークコミュニティ
「Hatch Meets」において施設
等のフィールドと実証ニーズを
マッチング

令和2年度 実証 3件

03

先進技術体験事業

市民が広く先進技術を体験できる
イベントを実施



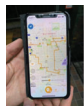
14

01 Startup tech × Social issue

犯罪予測による防犯ボランティア
活動の最適化

防犯パトロール × 犯罪予測AI
名古屋市 株式会社Singular Perturbations

犯罪予測AIにより最適
な防犯パトロール経路
を決定できるアプリを
用いて地域住民が防犯
パトロールを行い、効
果を検証。



15

02 Startup tech × Demonstration field

テラスが鶴舞
AIカメラプロジェクト

スポーツ施設 × AIカメラ
テラスが鶴舞 株式会社NTT Sportict

AIカメラを活用して、地
域のスポーツ大会などの
様子を自動で撮影。AIに
よって自動的に試合の中
心を追うように編集され
た画像を配信することで、
地域スポーツの活性化や
利用者の満足度を向上で
きるかを検証。



16

起業家教育プログラム Entrepreneurship education

（名古屋市）

（名古屋市・中部経済連合会）

（名古屋大学他）



小学生起業家育成事業
elementary school student

小学起業家たまご塾



中学生起業家育成事業
junior high school student

「スタートアップ1 DAY」
「スタートアップ3 DAY」



高校生スタートアップ創出
促進事業
senior high school student

「ティーンズ・ミートアップ」
「スタートアップ・ユースキャンプ」
（2021年度新規）



Tongali

EDGE-NEXT
SCORE大学推進型

17



NAGOYA BOOST 10000

起業を志す人や企業の新規事業担当者を対象としたビジネス
創出プログラム。ビジネス創出のためのナレッジやスキルの
獲得だけでなく、アウトプットにこだわったプログラム。

18



シリコンバレーで活動する講師陣から学ぶ起業家マインドやビジネス戦略
実施時期 2021年7月24日～10月16日

投資家や企業との接点を生み出すための大規模なピッチイベント
実施時期 2021年11月中旬予定

資金調達や事業化に向けた、ピッチトレーニングやメンタリング
実施時期 2021年11月中旬～2月中旬予定

スタートアップの聖地、シリコンバレーで活躍する講師陣から、生きた経験や理論を学び、グローバルな事業展開に必要な起業家マインドやビジネス戦略を習得

講師陣

足立 宗彰
Takahashi Akiochi
サードホールディングス 株式会社 Senior R&D Executive

井田 哲郎
Tetsuo Ito
Head of Japan (Country Manager) / 日本代表 伊藤テツオ

加藤 真平
Shigeru Kato
東京大学大学院情報理工学系研究科准教授 株式会社ティファール 代表取締役 最高技術責任者 CTO

加藤 道子
Michiko Kato
Principal at Woven Capital

棚田 健児
Kenji Kishida
Stanford University Asia-Pacific Research Center Research Scholar Stanford Silicon Valley New Japan Project Project Leader

Shixiang (Shane) Gu
Shixiang Gu
Google Brain Research Scientist 東京大学 専攻研究員

鈴木 雅三
Yoshiaki Takemichi
SV Frontier CEO

竹内 信紀
Takashi Taniuchi
TNI 総合法律事務所シリコンバレー・オフィス代表 (日本国・カリフォルニア州・ニューヨーク州)

吉川 欣也
Yoshiaki Tachikawa
株式会社PUBU 代表取締役社長

NAGOYA CONNECT

米ボストン発、世界6都市・11拠点で展開されているイベントプログラム「Venture Café」と連携し、月1回などのキャンパスにてイベントプログラムを実施。社会に対してイノベーションを生み出そうとする起業家やこれから起業を志す人、企業の新規事業担当者、VC・CVCなどの投資家、インキュベーター、アクセラレーター、行政、大学関係者、研究者など多様なイノベーターが集う。

スタートアップ企業支援補助金 company support subsidy

区 分	内 容
補助対象者	・市内での新規創業者 ・市内に本社等を有する創業後5年以内の中小企業者
補助対象経費	店舗借入費、設備費、人件費、専門家に支払う経費など、創業時等に必要経費
補助率	補助対象経費の1/3以内
限度額	1,000千円

スタートアップ等販路開拓支援事業 Sales channel development support

区分	内 容
補助金の種類	スタートアップ チャレンジ
対象企業	本市に本社機能を置く創業5年以内の中小企業 本市に本社機能を置く創業6年以内の中小企業
補助要件	最低投資額60万円 且つ 令和4年2月末までに拠点開設 最低投資100万円 且つ 令和4年2月末までに拠点開設 開設拠点に従業員1名以上が常駐
対象経費	東京23区内の拠点における賃料等6か月分
補助率	補助対象経費の2分の1
限度額	上限1,000千円

NAGOYA EVOLVES HP NAGOYA EVOLVES FB

サマリー

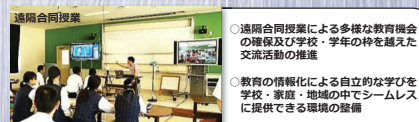


H28.5.11 設置

- | | | |
|------|--|---|
| 会長 | 伊那市政策委員 (元コマツ Hensley Industries inc. COO) | 「エピソードベース」から「エビデンスベース」へ
「プロダクトアウト」から「マーケットイン」へ |
| シグタム | 三郷総合研究所 三井住友海上火災保険 長野県ニクス/財団 | |

- | | | | |
|--------|--|---|--------------|
| | サイエンス基礎研究所、建設技術総合研究所
コード・フォシオ・エナジー |  | 計画・実行 |
| 研究機関 | 信州大学、名古屋大学、東京海洋大学、産業技術総合研究所
長野県南信州短期大学校 | | |
| 企業 | クワータ、沖電機工業、ソフトバンク、サイボウズ、KOA
伊野食品工業、タカノ、中央不動産、モネ・テクノロジーズ
丸紅伊勢あらいんせ、NTT東日本、JRE東日本、セーレン
KDDI |  | 知見提供 |
| 関係機関 | 伊野県工会議所、上伊野農業協同組合、上伊野木材協同組合
上伊野農業改良普及センター、長野銀行、長野県経営者協会
長野県行政推進士会 |  | 大学 × 企業 × 行政 |
| アドバイザー | 天竜川上河川事務所、飯田国道事務所、信濃森林管理署
上伊野町環境課、情報処理推進機構、県総合高度推進
教育情報化推進機構 | | |

【ICT教育】(自立化)



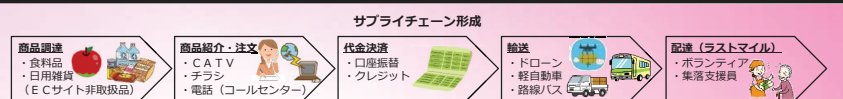
【サステイナブル環境】



【デジタル行政】



スキーム



ふれあい交通サービス「ぐるっとタクシー」運行事業

スキーム

A Iによる最適運行
自動配車サービス (SAVS)



サービス構成

(システム：株式会社未来シェア)

システム側が最も効率の良い運行ルートを実タイムに判断してドライバーへ配信

配車アプリ

↓ 車載端末

乗合運行

コールセンター

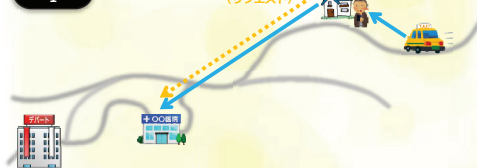


運行パターン

A I
配車計算アルゴリズム (機械学習)

Scene 1

① 乗車要求に対して自動で配車 (リクエスト)



Scene 2

① 乗車要求に対して自動で配車

② 走行中に別の乗車要求が発生 (リクエスト)

③ 乗合可否とルート再計算



Scene 3

① 乗車要求に対して自動で配車

② 走行中に別の乗車要求が発生

③ 乗合可否と別車両再配車



コンセプト

- 路線バスの乗合性 (ライドシェア) とタクシーの即応性 (オンデマンド) を両立した時間やルートを設定しない新交通システムの構築 [交通弱者等の移動確保]
- 個別地点における乗降車 (ドアツードア) の実現による利用者の利便性向上と負担軽減 [サービスの高度化]
- 限られた車両数で最大の運送効率の発揮と空車率の減少 [運行の効率化]



(運行管理：伊那ケーブルテレビジョン株式会社)

復路予約 (お助けスポット)



TELEVISION



IDカード



往路予約 (自宅)



事業運営内容

利用体系：事前登録制

- 対象者：高齢者(65歳以上)、障害者(手帳等所持者)、運転免許返納者
- 利用料：電話予約 500円
ウェブ又はケーブルテレビ予約 300円
障害者又は運転免許返納者 250円

交通体系：エリア運行

- 運行日：月曜日～金曜日(祝日を除く)
運行時間：午前9時～午後3時
車両台数：各エリア4台

区分	運行地区
Aエリア	西春近(小屋敷を除く)・木原原 竜西・西賀輪・市街地北部・小屋敷
Bエリア	富原(新山を除く)・東春近 竜東・美馬・手良
Cエリア	高遠(河南を除く) 長谷・新山・河南



3大ステーション



3

ICTライフサポートチャンネル構築事業 (スキーム)

Scene 1
買物サービス

「ゆうあいマーケット」
(商品注文)



ドローンとクルマのハイブリッド
による商品配送サービス



地域ボランティア



官民連携によるシステム導入支援

市：導入経費補助
ケーブルテレビジョン：利用料割引等

双方向通信専用チューナー
(セットトップボックス)
・個人負担 5,500円/台

工事費等
・個人負担 無料

インターネット通信料
・個人負担 2,200円/月



補助対象要件

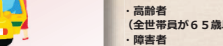
以下の方が世帯主&契約者
・高齢者
(全世帯員が65歳以上)
・障害者
(手帳所持者等)



「ぐるっとタクシー」
(配車予約)

オンデマンド

車両運行画面



ライドシェア

ドアツードア



A I (人工知能) による最適運行
自動配車サービス



TELEVISION



ケーブルテレビ
リモコン
(システム：ジャパンケーブルキャスト株式会社)

事業内容

人口減少社会における少子高齢化やコミュニティ機能低下等の更なる進行が予測される中で、交通弱者や買物弱者、独居高齢者の支援に向け、ケーブルテレビを使ったマルチタスク対応型サービスプラットフォームを構築することにより、将来にわたり暮らし続けることのできる環境の整備を図る。



コンセプト

「観るテレビ」から「使うテレビ」へのパラダイムシフト
～ケーブルテレビによるサービス群の統合～

- 双方向通信技術 (ハイブリッドキャスト) による次世代データ放送への対応
- 高齢者が日頃から使い慣れているテレビのリモコン操作のみによる簡便なサービスオーダーの仕組みづくり
- テレビ受信料と各サービス料金の一括決済方式 (口座振替) によるキャッシュレスの実現

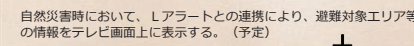
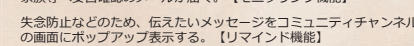


各サービス

【買物】
テレビ画面で「ゆうあいマーケット」の商品を午前中に注文すると、夕方までにドローンやボランティアにより自宅まで配送される。

【交通】
テレビ画面で「ぐるっとタクシー」を予約すると、A I (人工知能) によりリアルタイムに指定場所まで配車される。

【安心】
テレビの電源投入時やコミュニティチャンネルの一定期間未視聴時に、家族等へ安全確認のメールが届く。【モニタリング機能】
失念防止などのため、伝えたいメッセージをコミュニティチャンネルの画面にポップアップ表示する。【リマインド機能】
自然災害時において、Lアラートとの連携により、避難対象エリア等の情報をテレビ画面上に表示する。(予定)



4

遠隔医療を基盤とする“モバイルクリニック”構築事業

スキーム

コンセプト

- 遠隔医療専用車両としての次世代型モビリティのサービスモデル化
～「人」や「モノ」の移動媒体から「コト」の提供媒体へ～
- 医師側：車を所有することなく、必要な時に必要な分だけ対価を支払って利用（シェア）
患者側：車が地域へ向かい、車両空間でのアウトリーチサービス（医療）を享受
- 健康長寿社会の未来を紡ぐ医療型MaaSプラットフォーム
- 医療最適化：重症化前の病状改善、通院医療と遠隔医療の政策的トリアージ
医療高度化：オンラインによる専門医療の受療機会創出

事業概要

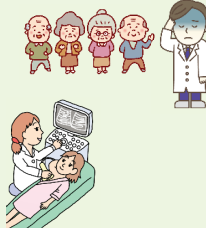
- 車両空間内におけるオンライン診療・服薬指導
- 医薬品配送（一気通貫の医薬提供体系）

現状と課題

- 医療機関への移動や待ち時間など経済的・身体的負担の増大
- 医療機関の偏在や慢性的な医師不足に伴う受療機会の脆弱化
- 訪問診療や往診等の地域に寄り添った医療サービス提供の困難化

目的と効果

- 均衡ある医療サービスの実現
- 医師と患者両面からの負担軽減
- 医療経営の効率化と利便性の向上



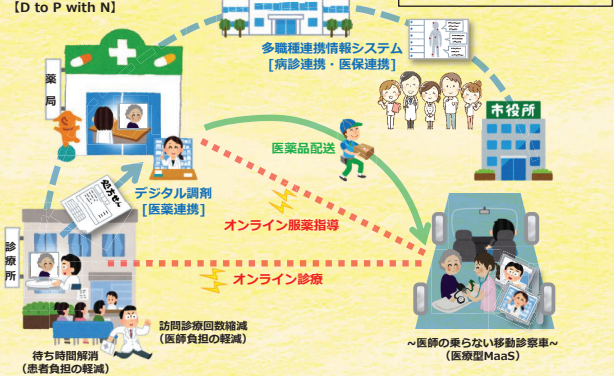
ワークフロー

クリニカルパスの最適化 ～ 予防・検査・診断・投薬・治療・予後管理 ～
【地域包括ケアとの協働】



サービスモデル

新たな医療提供体系
[D to P with N]



車両搭載機能

通信と情報工学の融合
[テレマティクス]

- 運行管理システム
 - ・プローブ情報の取得
 - ・トランスログの提供

スケジュール管理
（J Rバス関東株式会社）

- ・診察（医療従事者）
- ・配車（ドライバー、車両）

情報共有クラウド
（111電子@連絡橋サービス）

- ・患者情報
- ・訪問記録

医療機器等
（株式会社フィリップス・ジャパン）

- ・心電図モニター
- ・血糖値測定器
- ・血圧測定器
- ・パルスオキシメーター
- ・デジタル聴診器
- ・AED など

オンライン診療・服薬指導
（モネ・テクノロジーズ株式会社）

- ・テレビ会議システムによる問診
- ・医師から看護師への指示
- ・看護師による診療補助支援

5

INA スーパーエコポリス構築プロジェクト（スキーム）

～ 環境 (ecology) と経済 (economy) が親和した都市 (polis) の実現 ～

① 観光型MaaSの構築

- トリップチェーン&マルチモーダル
あらゆる交通機関の路線検索、乗車予約、代金決済のウェブ上で一括処理と宿泊、飲食、観光等をセットで提供できる仕組みを構築する。
- デジタルトランステーション（DX x ステーション）
市のゲートウェイとしてのJ R飯田線各駅のICTリノベーションにより、訴求度の高いプロモーションを実施し、地域ポテンシャルの発信に結びつける。



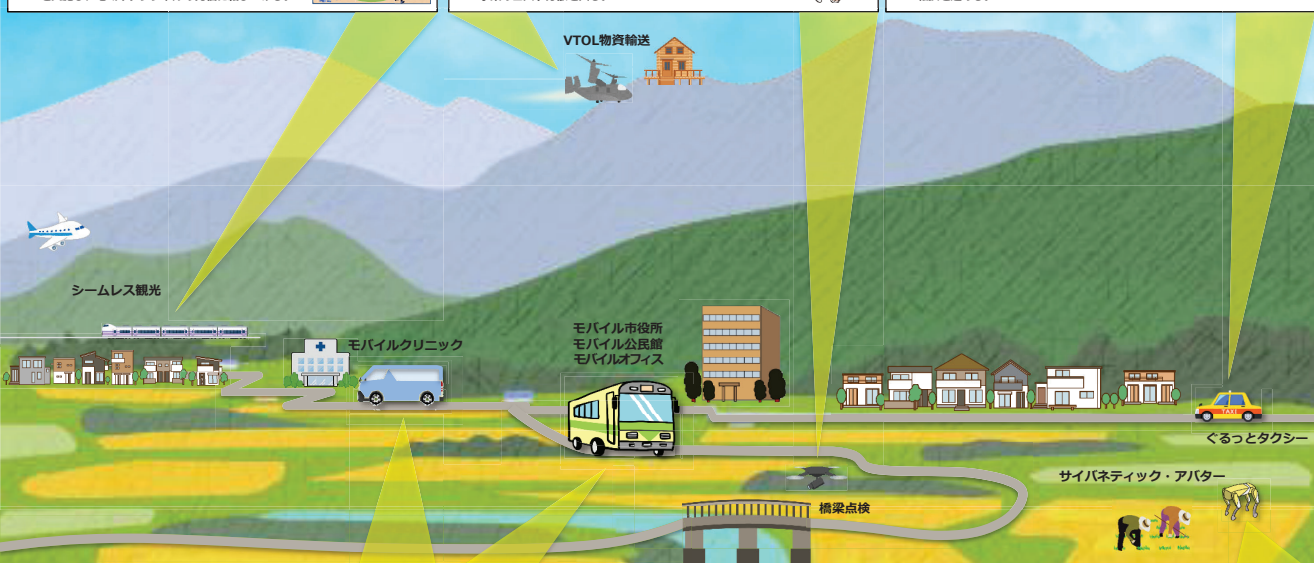
② ドローンのマルチユース化

- 山荘への荷物搬送サービス化
隔絶地となる山荘への物資運搬を従前のヘリコプターからVTOLへシフトすることにより、フレキシブルな運航とコストダウンを実現する。
- 河川上における活用の推進
橋梁点検や河川監視へのドローン活用を進めることで、機体の稼働率向上やオペレーターの負担軽減により、事業のコスト分散を図る。



③ 移動型MaaSの高度化

- AIの機能強化（機械学習）と運行最適化の検証
運行サービス開始後に蓄積された走行ログ等を基に、AIのマシニングと運行体系の在り方について見直しを行う。
- 車両のEV化
CO2排出削減を通じた自然環境への負荷軽減に向け、AI自動配車・乗合タクシーにおける電気自動車への転換を進める。



④ 医療型MaaSの高度化

- 薬剤分野と地域包括ケアへの拡張
従前において確立したオンライン診療の枠組みの中に、オンライン服薬指導と薬剤配送を加えるとともに、保健・介護分野との連携を図り、事業効果を高める。
- 車両搭載医療機器の拡充
モバイルエコーやペースメーカー検査機器などの先端医療機器の導入により、モバイルクリニックにおける対応可能シーンの拡大を図る。



⑤ マルチタスク型MaaSの構築

- 既存バスのコンバージョン
コミュニティバスの運行空き時間において様々な用途に活用できるよう、車両をモディファイし、地域へのアウトリーチ型サービスとして提供する。
- 行政窓口や健康増進などのユースケース創出
一人では外出が困難な高齢者等の支援に向けて、行政サービス型やウェルビーイング型MaaS用のサービスプラットフォームを構築する。



⑥ ロボティクスによるマンパワーの代替

- 産業・介護分野等における作業支援
サイバネティック・アバター（CA）の導入により、農林業や建設業、介護現場等における肉体的負担の軽減を図る。
- 保健福祉分野におけるコミュニケーション支援
高齢単身世帯の増加による地域社会からの孤立化を防止するため、安否確認や見守りを兼ねた会話型ロボットの導入を推進する。



6